

坂口安吾生誕祭 120 関連イベント 2026.4-2027.3

坂口安吾まつり in 松之山

坂口安吾ゆかりの地である松之山で開催する文学イベントです。朗読会やトークを通して、安吾と松之山の関わりや作品世界に触れ、その魅力を多くの人に伝えます。

- 期日** 5月16日(土)13:30～
- 会場** 大棟山美術博物館
- 参加費** 2,000円
- 問合せ** 松之山安吾の会(事務局)
FAX:025-596-2522

安吾と画乱洞とその周辺

安吾が小田原に滞在していた時期の交流に焦点を当てた特別展示を開催。小説にも「ガランドウ」として登場する看板職人・山内画乱洞の関係資料などから、その交流の様子を紹介します。

- 期日** 5月24日(日)まで開催中
- 会場** 小田原文学館
- 入館料** 大人250円、小中学生100円
- 問合せ** 小田原市立中央図書館
0465-49-7800

坂口安吾×尾崎士郎

～伊東の人々と文豪の交遊譚～

終戦前後、伊豆伊東で過ごした、坂口安吾・尾崎士郎の二人の文豪と、肝臓先生をはじめとする伊東の人々との交遊をテーマに展示を行います。また、市立図書館と連携した文学講座や、ゆかりの地を訪ねるクイズラリーも開催します。

- 期日** 6月5日(金)～11月8日(日)
- 会場** 伊東市文化財管理センター
- 入館料** 無料
- 問合せ** 伊東市文化財管理センター 0557-36-2182

安吾の母校東洋大学での関連企画

①東洋大学付属図書館企画展示②東洋大学日本文学文化学会2026年度大会特集「坂口安吾生誕120年」(記念講演・研究発表)③東洋大学社会貢献センター公開講座「坂口安吾と同時代作家(横光利一・石川淳・牧野信一・太宰治)」

- 期日** ①7月上旬～中旬②7月11日(土)③11月～12月、2日間
- 会場** ①②③東洋大学白山キャンパス
- 参加費** ①②③無料
- 問合せ** 東洋大学校友会 03-3946-9111



東洋大学校友会 Webサイト

坂口安吾に関する講座

本市出身の作家・坂口安吾の素顔や作品の多様な魅力を分かりやすく紹介します。生誕120年の節目にあたり、その魅力をあらためて振り返ります。坂井輪シニアカレッジの一環として実施します。

- 期日** 9月4日(金)13:30～15:00
- 会場** 坂井輪地区公民館
- 参加費** 無料 **定員** 先着30人 ※当日直接会場へお越しください
- 問合せ** 坂井輪地区公民館 025-269-2043

新津安吾忌

坂口安吾の遺徳をしのび、その功績を顕彰する事業です。講演や朗読、ゆかりの地での企画等を実施し、安吾の文学と人物像を広く紹介するとともに、地域に根差した文化の継承と発信を図ります。

- 期日** 2027年2月17日(水)
- 会場** 新津地域学園研修室201 受付
- 参加費** 無料(要申込)
- 問合せ** 阿賀浦コミュニティ協議会
agauracomikyo@coral.plala.or.jp

第35回・桐生安吾忌の集い

桐生市で晩年を過ごした安吾をしのぶ「安吾忌の集い」を開催。荻野アンナ氏による講演のほか、安吾作品の朗読、演奏を予定しています。

- 期日** 2027年2月28日(日) 15:00～(予定)
- 会場** 群馬県桐生市内(未定)
- 問合せ** 安吾を語る会(奈良書店内)
0277-22-7967

新潟国際アニメーション映画祭

安吾のテキストが内包する不可思議な熱量を、アニメーションという装置で現代に接続する試み。安吾文学とアニメーションによる創造的プロジェクト(仮)を準備中です。

その他関連イベントは、**坂口安吾デジタルミュージアム**で随時発信中！

◆各イベント・企画展の開催時間等は施設の開館時間、休館日に準じます 2026年4月発行

『新潟県人物小伝 坂口安吾』発刊

このたび、新潟日報メディアネットから安吾生誕120周年を記念して『新潟県人物小伝 坂口安吾』が発行されました。同シリーズでは會津八一に次ぐ10巻目での登場です。終戦直後、『墮落論』を著し、墮ちきるところから真実の生をつかみ取ることを説いた坂口安吾。その激しい人生の軌跡を豊富な資料と数多くの写真をもとに紹介＆解説します！



岩田多佳子著
1,100円(税込み)
問合せ/
安吾の会(シネ・ウインド内)
025-243-5530



文化財センター Webサイト



撮影/三堀謙二

「信長」作者のことば
少年時代の信長は天下のタワケモノとよばれた。子守りの老臣はバカさに呆れて切腹した。三十すぎ、海道随一と武名の高い今川を易々と打ち亡ぼしても、ウチのバカ大将がなぜ勝たかど家来どもが狐につままれた気持であった。
天下を平定して事実が証明したから、ウチの大将は本当らしいやど納得せざるを得なかったが、内心は半信半疑なつまり信長の偉さはその時代には理解しがたいものた。こんなのは珍しい。
信長とは骨の髄からの合理主義者で単に理攻めした人であるが、時代にとっては彼ぐらい不合理存在はなかったのだ。
時代と全然かけ離れた独自の個性は珍しくなく、ぬが、それが時代に押しつぶされずに、時代の方をた例は珍しいようた。理解せられざるままに時代を征服した信長に良い家来は少くないが、良い友達は一人もいない。多少ともカンタン相てらしらししい友人的存在は斎藤道三と松永正正という老いたる二匹のママシであるう。
歴史にも類のない悪逆無道の悪党とよばれた二人が揃って彼のともかく親友的存在の全部。むろんママシの友情だから、だましたり裏切ったり、奇々怪々な友情だが、ともかく友情の血は通っていた。その友情も時代は理解することができなかつたし、彼が光秀に殺されたのも時代にとって不可解であった。彼をめぐる全てが不可解のようなものだ。
かれの強烈な個性は一見超人的であるが、実はマトモにすぎた凡人なのかも知れない。彼の一生にふくまれた人間史の綾や幅は比類なく雄大で正常である。
私の狙いつつあるものが描けるかどうかは目下は雲をつかむようだ。ともかくタワケモノの少年と老いたる美濃のママシとの交渉からポツポツ物語をはじめること致します。
美濃の古戦
信長はふと目がさめた。平手政秀の声をきいたと思つたが、夢かも知れない。別室にまだ起きている人々の物音はきこえるが、人声はきこえない。平手がこの時刻に近くにいるはずもない。

坂口安吾 生誕祭 120



初公開 自筆原稿「信長」(7冊のうち)

環日本海・坂口安吾国際シンポジウム
坂口安吾企画展「処方箋文庫®」
坂口安吾展(自筆原稿「信長」初公開)
ほか関連イベント



坂口安吾 デジタルミュージアム

お問い合わせ/坂口安吾生誕祭実行委員会事務局(新潟市文化政策課内)tel.025-226-2624
坂口安吾生誕祭実行委員会(安吾の会、松之山安吾の会、安吾を語る会、阿賀浦コミュニティ協議会、東洋大学校友会、にいがた文化の記憶館、BSN新潟放送、新潟日報社、新潟市、新潟市芸術文化振興財団)後援/新潟県、(公財)新潟観光コンベンション協会 協力/新潟・市民映画館 シネ・ウインド デザイン/はれび



坂口安吾生誕120年の節目を迎えた2026年。安吾の光が降り注ぎ、安吾の風が吹き抜けるふるさと新潟市で、多彩なプログラムが展開される。日本、中国、韓国の若手研究者が集う「環日本海・坂口安吾国際シンポジウム」をはじめ、時代を超え、国境を越えて人の心を捉えて離さない安吾作品のエッセンスを講演、朗読、映画、舞踊、落語、音楽を通して「安吾の世界」を体感しよう。

環日本海・坂口安吾国際シンポジウム ——海を越えて広がる安吾文学

いま、安吾作品は中国、韓国、ロシアなど東アジアの人々に読まれつつあります。国境を越える安吾文学の意義と可能性を、新潟市出身の翻訳家で韓国文学にも詳しい齋藤真理子さんと、芥川賞作家の藤沢周さんの講演によって解き明かします。さらに各国の安吾研究者などによる発表とパネルディスカッションによって、それぞれの国での安吾文学の読まれ方、文化を軸にした相互理解や国際交流の可能性を明らかにします。

日時／10月18日(日)13:00～16:30

会場／りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 能楽堂

■第1部 記念講演

齋藤真理子(翻訳家・作家)「翻訳家から見た韓国、日本そして安吾」

藤沢周(作家)「タンテイ安吾の張り込み術」

■第2部 各国代表者発表&パネルディスカッション

呉玥瑤(ご・げつよう:北京外国語大学卒業、現在、神戸大学大学院修士1年生)

ウリアナ・ストリジャック(ロシア国立研究大学高等経済学院 准教授)

黄益九(こう・いくく:韓国国立釜慶大学校 准教授)ほか

参加費／無料 定員／200名

申込み／坂口安吾デジタルミュージアムにてお知らせします(9月予定)

後援／(公財)新潟市国際交流協会

問合せ／坂口安吾生誕祭実行委員会事務局 025-226-2624(新潟市役所文化政策課内)



坂口安吾
デジタルミュージアム



藤沢周



齋藤真理子

撮影・増永彩子

坂口安吾企画展「処方箋文庫®」

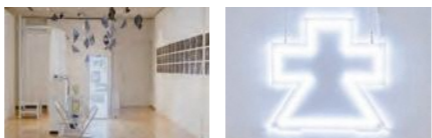
坂口安吾の作品世界を“診療”に見立てて体験する展示企画です。安吾の来歴紹介や作品の解体展示、言葉のインスタレーションを通して文学を「よみぐすり」として紹介し、一人ひとりの心に寄り添う新たな読書体験を創出します。

会期／10月16日(金)～10月20日(火)

会場／りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 ギャラリー

入場料／無料 定員／なし 申込／不要

問合せ／坂口安吾生誕祭実行委員会事務局 025-226-2624(新潟市役所文化政策課内)



Curation & Design: Tsuguko Kawasaki

坂口安吾展

I. 初公開「信長」自筆原稿 II. 安吾を育んだ新潟

I.新潟市が昨年新たに購入した、坂口安吾自筆原稿「信長」を2回に分けて公開します。「信長」は、安吾最高傑作と評する人も多く、人気の作品です。II.生誕120年に際し、生まれ育った新潟への思いと、安吾の中に生きる新潟を紹介します。

会期／I.「信長」Part1: 7月7日(火)～9月1日(火)

「信長」Part2: 9月3日(木)～11月3日(火)

II.安吾を育んだ新潟: 11月5日(木)～12月26日(土)

開催時間等は、ほんぽーとの開館時間・休館日に準じます

会場／ほんぽーと(新潟市立中央図書館)2F 特別コレクション室

入場料／無料

問合せ／「安吾 風の館」事業室 025-222-3062



坂口安吾自筆原稿「信長」

坂口安吾生誕祭 120関連イベント 2026.4-2027.3

アートミックスジャパン2026「落語・教祖列伝」

生誕120年という節目にあわせ、安吾を題材にした今年限りの特別プログラムを上演。力強い節と語りで魅了する浪曲師、玉川奈々福が新作長編浪曲に挑みます。新潟市出身の落語家、立川らく萬が「兆青 ～落語教祖列伝「兆青流開祖」より～」を口演。二つの語り芸が同じステージ空間で織りなす特別な体験が楽しめます。

期日 4月18日(土)13:30～[65分]※開場／13:10

会場 りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 能楽堂

金額 一般3,500円、U15(15歳以下)無料 ※別途、支払手数料等を負担あり

問合せ AMJ専用電話 025-255-1332

坂口安吾2026読書会&ゆかりの地めぐり



安吾の会の毎年恒例の行事である安吾読書会が今年も4月から9月の毎月第2土曜日午後開催されます。今年も充実した案内人のラインナップで安吾を深く学びたい方から安吾初心者の方まで、気軽に参加できます。

期日 [読書会]4月～9月の第2土曜日16:00～18:00

[ゆかりの地めぐり]6月27日(土)10:00～、9月12日(土)13:30～

会場 ゆいぽーと 多目的スペース(新潟市芸術創造村・国際青少年センター)

金額 各500円

内容 4/11「坂口安吾とフランス啓蒙思想」——「フィガロの結婚」と

「カンディード」を媒介にして(齋藤良助/安吾の会)

5/9「安吾の作品と思想に香る“少女性”」(鬼澤みい/安吾の会)

6/13「安吾はふるさと」(恩田雅和/有吉佐和子記念館長)

7/11「『安吾の風』と中上健次」(永田幸男/安吾の会)

8/8「坂口安吾と地方都市・新潟の文化」(石垣雅美/いがた文化の記憶館学芸員)

9/12「酒と秋田と幻の作と」(清水紀栄/編集者・校閲者)

問合せ 安吾の会(シネ・ウインド内) 025-243-5530

新潟Aフィルハーモニック第5回定期演奏会



・～坂口安吾生誕120年に捧ぐ～
ジムノペディ ドビュッシー版 第1番
(エリック・サティ)
・「皇帝ティートの慈悲」K621序曲(モーツァルト)
・オーボエ協奏曲(R・シュトラウス)
・交響曲 第4番(ベートーヴェン)

期日 6月27日(土)14:30開演

会場 りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

金額 一般5,000円、高校生以下1,500円(全席指定・未就学児入場不可)

問合せ いがた音楽アーティスト協議会 事務局 080-8712-7805



新潟Aフィルハーモニック
Webサイト

ミニ展示「坂口安吾と新潟日報」



坂口安吾生誕の日と新潟日報創刊記念日に合わせて、毎秋、新潟日报社が所蔵する安吾の手紙をにいがた文化の記憶館で公開します(企画展示との併催)。戦後の混乱期に地方紙が果たすべき役割を長兄の献吉に進言した貴重な手紙です。

期日 9月29日(火)～11月1日(日)

会場 にいがた文化の記憶館

入館料 一般500円、学生(大高生)300円

問合せ にいがた文化の記憶館 025-250-7171
(10:00～18:00、月曜休館)



にいがた文化の記憶館
Webサイト

桜の森の満開の下ー語りと、歌・二胡によるー

坂口安吾作品をライフワークとした俳優・千賀ゆう子(18年逝去)。彼女に教えを受けた、加藤翠が、歌・二胡の中川ゆかりと共に「桜の森の満開の下」を鮮やかに語ります。

期日 4月18日(土)①14:00～②18:30～

会場 新潟・市民映画館 シネ・ウインド

金額 前売3,000円 当日3,500円

問合せ 安吾の会(シネ・ウインド内) 025-243-5530

Noism0+Noism1 『私は海をだきしめていたい』／改訂版『春の祭典』



舞踊で紡ぐ、安吾とサティの精神世界
りゅーとびあ 専属舞踊団Noism Company Niigataが、安吾の短編『私は海をだきしめていたい』にインスピレーションを得た新作を上演。音楽は、本年が生誕160年にあたる、安吾が愛した作曲家エリック・サティのピアノ曲。安吾とサティの共鳴する精神世界を、金森穰の演出振付による舞踊詩として紡ぎます。同時上演は、2020年コロナ禍に初演した金森穰版『春の祭典』。言いようのない不安や恐れ、そして苛立ちを抱える現代人の精神状態を、生身の人間にしか表現できない、集団ヒステリーの儀式として描き出します。

期日 6月27日(土)17:00、28日(日)15:00

7月4日(土)15:00、5日(日)15:00

会場 りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館(劇場)

金額 全席指定5,500円、U25(25歳以下)3,000円、高校生以下1,000円(税込)

他会場 埼玉公演あり:7月25日(土)15:00、26日(日)15:00彩の国さいたま芸術劇場(大ホール)

問合せ りゅーとびあチケット専用ダイヤル 025-224-5521(10:00-17:00、休館日除く)



Noism
Webサイト

風と光と安吾の映画と 坂口安吾映画祭2026



安吾原作の映画「桜の森の満開の下」(5月)、「負ケラレマセン勝ツマデハ」(6月)、「カンゾー先生」(7月)、「戦争と一人の女」(8月)、「不連続殺人事件」(9月)、「白痴」(10月)を連続上映。同時開催の読書会もあります。

期日 5月～10月の毎月第二土曜日から1週間(火曜休館)

会場 新潟・市民映画館 シネ・ウインド

金額 シネ・ウインドの入場料に準ずる

第二日曜午後開催の読書会は500円(定員5名・要申込)

問合せ 安吾の会(シネ・ウインド内) 025-243-5530

安吾大学inゆいぽーと



『甦る坂口安吾』(1986年刊)を起点とし、新潟における安吾の顕彰活動を資料とともに振り返ります。また、こころの健康センターと連携した講座(講師:福島昇所長)、「吹雪物語」時代の新潟再現アニメーション講演会(講師:三村哲弘)、安吾ゆかりの料理の再現など、これまでにない多角的な切り口で坂口安吾の魅力に迫ります。

期日 10月2日(金)～10月12日(月祝) ※講座は11日、再現料理は12日で調整中

会場 ゆいぽーと(新潟市芸術創造村・国際青少年センター)

参加費 無料(展示と講座)

問合せ ゆいぽーと 025-201-7530



ゆいぽーと
Webサイト

◆各イベント・企画展の開催時間等は施設の開館時間、休館日に準じます